

まちづくり交付金 事後評価シート
岩村田地区

平成21年12月

長野県佐久市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県	市町村名	佐久市	地区名	岩村田地区			面積	276.9ha
交付期間	平成17年度～21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	3,806百万円	国費率	0.363		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業	提案事業	道路(原東1号線、千歳線、浅間中学校)、公園(湯川親水公園、花園親水公園)、地域生活基盤施設(回遊ルートサイン整備事業)										
1) 事業の実施状況	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	基幹事業	提案事業	高質空間形成施設(沿道モニュメント設置事業)		モニュメントとして何が最適であるか煮詰まっていないため事業を中止		数値指標「来街者数」に関連するが、目標値は据え置く						
	提案事業	提案事業	建物保存再活用事業 空店舗活用事業		健保: 県単独事業による実施に変更 空店: 他制度による実施に変更		影響なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(S2-162-2号線など原東1号線周辺の8路線) 地域生活基盤施設(浅間体育センター駐車場整備事業) 高質空間形成施設(歩道空間整備事業)		道路: 岩村田相生町土地区画整理事業の道路整備の一部を実施 地生: 既存の駐車場は狭いため、駐車場用地取得と整備を図る 高質: 原東1号線を住宅地を通るシンボル道路とするため追加		影響なし						
交付期間の変更	当初	変更	平成17年度～21年度	平成17年度～21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		変更なし						
	当初	変更	平成17年度～21年度	平成17年度～21年度	変更なし		変更なし						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	来訪者数	人/年	169,200	H13	190,000	H22	モニタリング	評価値				×
	指標2	通りの歩行者数	人/日	738	H16	800	H22	-	926	○	あり なし	商店街活性化事業、空店舗活用事業、建物保存再活用事業等の実施により、岩村田商店街を中心として賑わい度が高まった。	-
	指標3	人口	人	9,564	H15	10,000	H22	-	10,362	○	あり なし	道路事業や土地区画整理事業等基盤整備の効果により、良好な市街地形成が進行し、人口増加に結びついた。	平成22年4月
	指標4										あり なし		
	指標5										あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	地区の空き店舗数	店舗	10	H16			モニタリング	評価値				×
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	・空き店舗を活用して開設した「子育て村」や「寺小屋塾」の影響により、地域の子育てに対する意識の高まりがみられる。「子育て村」はマスコミにも注目され、岩村田商店街のイメージアップに繋がった。												
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要

岩村田地区(長野県佐久市) まちづくり交付金の成果概要

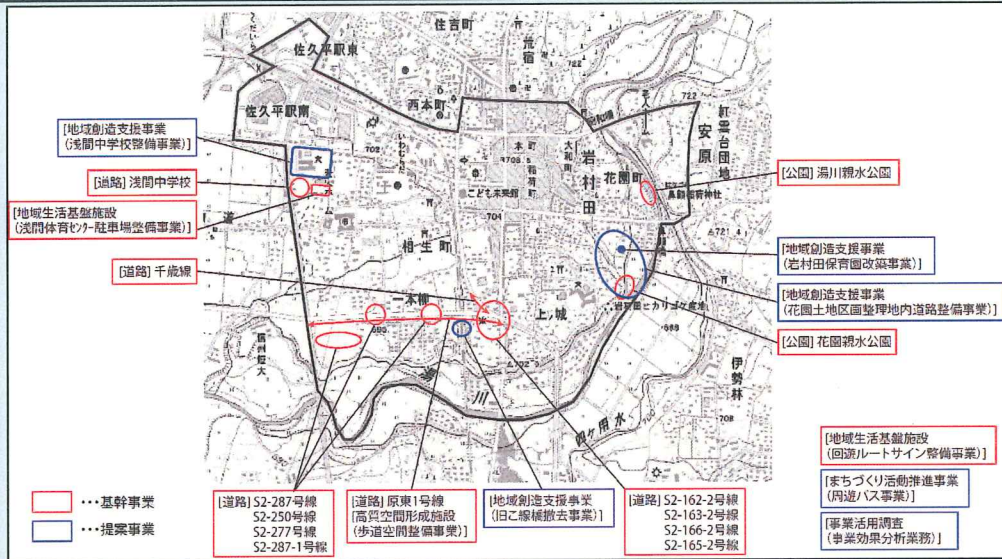
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 佐久平駅や国道141号を利用する人に中山道の趣きを提供するまちづくり 目標1: 広域交通ネットワークからの来街者を引き込みやすくするまちづくり 目標2: 宿場町、門前町の雰囲気を最大限に生かしたまちづくり 目標3: 地域活動や社会教育、また人口定着にインセンティブを与えるまちづくり	来訪者	単位: 人/年	169,200	H13	190,000	H22	178,100	H20
	通りの歩行者数	単位: 人/日	738	H16	800	H22	926	H21
	人口	単位: 人	9,564	H15	10,000	H22	10,362	H21



■ 浅間中学校



■ 浅間体育センター駐車場



■ 原東1号線沿いの歩行空間



■ 湯川親水公園



■ 千歳線



■ 花園親水公園

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験を行った周遊バスにおいて、一定の利用者が見られ、将来的な事業化を実現するための検討材料となった。 ・地区の拠点性やにぎわいが向上した。 ・道路の整備や土地区画整理事業の実施により、良好な市街地が形成され、地区人口の増加に結びついた。 ・中学校や保育園の改築により、施設面での支障が解消された。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験として一定の成果の上があった周遊バスについて、既存バス会社とも協議を行った上で、事業化を検討する。 ・定住人口の流出を防止するため、市街地の質の維持・向上及び高齢化に対応した市街地整備を図っていく。 ・子育て村や寺子屋塾などの活動で培った基盤を核として、ティーンエイジャーや親世代、シニア層との交流、更には、多世代交流へ展開する。このような活動を通じて、大規模店に負けない特色ある商店街づくりを目指す。 ・平成22年完成予定の中部横断自動車道「中佐都IC」の利用者等を本地区に誘導するため、原東1号線を中心としたまちづくりを推進する。地区を越えた取組みとしては、市内の核となるスポットを巡ることができる“車の回遊性”を向上させる。 ・沿道モニュメントとして何が最適か十分に協議した上で、地域のPRとなるモニュメントの設置を検討する。 ・他地区と併せて、「佐久市の回遊ルート」を総合的に周知し、回遊者の増加を図る。 ・既存店舗の連携、空き店舗の活用等により、魅力ある岩村田商店街を再構築していくとともに、中山道の歴史を活かした街並みづくりを推進する。